

町内会連合会主催

—— 平成29年度 町内会長と行政との懇談会意見交換概要 ——

《と き》 平成29年7月5日（水）

《と ころ》 グランドホテル藤花

《開催次第》

1. 開 会
2. 主催者挨拶 名寄市町内会連合会 会長 中 村 雅 光
3. 市長挨拶 名 寄 市 長 加 藤 剛 士 様
4. 平成29年度の市の主な事業等
 - (1) 総務部
 - (2) 市民部
 - (3) 健康福祉部
 - (4) 経済部
 - (5) 建設水道部
 - (6) 教育部
 - (7) 名寄市立大学・名寄市立大学短期大学部
 - (8) 名寄市立総合病院
 - (9) 消防署
 - (10) 農業委員会
5. 質疑応答・意見交換
6. 閉 会
7. 懇 親 会



《参 加 者》 町内会：58名 行政：22名 計80名

【市長挨拶】

本日は多くの町内会長さんにお集まり頂き、感謝申し上げます。また、毎年このような機会を設けてくださっている町内会連合会の中村会長をはじめ、役員の皆様にもお礼申し上げます。今週に入りようやく暖かくなり始め、遅れが懸念されていた農作物もこのまま順調に育ってほしいと願っております。また、6月から大きな野外イベントが行われておりますが、ここ最近週末の天候がずっと悪く、先週行われた「ふれあい広場」も雨の中の開催となりました。自分の精進が足りないのかと思うこともありますが、何と言っても来

週には「平和音楽大行進」が控えており、今年も天気にも恵まれてほしいと願っているところでもあります。

さて、町内会長の皆様におかれましては日夜、町内会活動を通じ、明るく元気で安全安心なまちづくりのため、懸命にご奮闘いただき、お力添えをいただいていることに対して深く感謝申し上げます。本年度より新総合計画がスタートいたしました。人口が減少していく中で、人口減少を少しでも食い止める施策と、人口が減少しても力強いまちを作っていくためには、横と横のつながりをしっかりと強くしていかなければならないと感じております。そのために重要なのは「町内会活動」であると考えております。町内会活動に関しましては少子高齢化という大変な状況の中、苦勞されている方も多いと思います。平成29年度からは地域支援の新しい取り組みがスタートしており、この事業を活用して、買い物支援事業を始めた町内会もあります。本市の中で先駆的な活動をしている町内会が出てきているということは、大変嬉しく思っております。また、一つの町内会ではなかなか取り組めなくなってきた活動を、町内会の枠を超え広域的に取り組もうとする動きが出ていることも聞いております。いずれにしましても、地域活動を目に見える形でしっかりとつないでいくことが、安全安心で豊かなまちづくりになっていくと思いますので、これからも市民と協働のまちづくりを目指し、皆様より様々なご提言を頂きながら、我々も汗をかいていきたいと思っております。本日はお集まりいただき、ありがとうございました。

【質疑応答・意見交換】

(1) 講師派遣について

町内会で味噌やトマトをつくっているのだが、教えてくれる先生がいればいいなという話になった。もし来ていただけるのであればどこにお願いしたらよいか。 【旭栄区】

回答：経済部長

本市でも大豆やトマトを栽培しているので、地元産食材の活用促進という面からも非常に良い取り組みだと思ふ。現在市では、町内会に対して講師を派遣するという事はやっていないが何らかの形で協力したいのでぜひ一度、農務課農政係にご相談いただきたい。

(2) キツネの駆除について

最近街中でキツネを多く見かける。町内でもゴミ箱をあさっているようなので、キツネの駆除をお願いしたい。 【西町1区】

回答：市民部長

近年街中でキツネを見かける機会が増え、ゴミ箱を荒らす被害が増えている。平成27年度はカラスによる被害が50件、その他の動物は35件だった。市によるキツネ駆除は行っていないが、箱罠の貸出は行っているため、ご相談いただきたい。

(3) カラスについて

錦通の大きな白樺の木にカラスが2羽おり、自分が聞いただけでも3人がカラスに襲われているようだ。市の職員に駆除してもらおうと思ったが、ヒナが巣立ってしまい、手が付けられなくなってしまった。 【西町1区】

回答：橋本副市長

ヒナのうちは放水等で対応できるので、巣を見つけたら早めにご相談いただきたい。

(4) 智恵文沼の土砂浚いについて

智恵文沼に入る側溝の出口が土砂等で埋まり、流れが悪くなってしまっている。何度も要望しているが、開発局や北海道の管理ということもあり、なかなか改善されずに困っている。土砂を取り除いてもらえないと、大雨が降った際に沼の上流側の八幡地区に水がついてしまう。また、智恵文沼から排水機場へ向かう所にも土砂がたまり、流れが悪くなっているのであわせてお願いしたい。 【智恵文智北】

回答：建設水道部長

智恵文沼は開発局、北海道、市の3者で管理している。現状を踏まえ、開発局、北海道に要望しているが、なかなかすぐに対応していただけていない状況である。改めて現場を確認させていただき、粘り強く要望していきたい。

(5) 初茶志内川と南大橋の雑木について

智恵文沼の管理の問題にもあるように、関係機関と横の連携ができているのか疑問に思う所がある。曙地区には開発局と北海道とで管理している初茶志内川がある。川の下流側には北海道管轄の所と開発局管轄の箇所があり、それぞれの機関に築堤に生えている柳の木を切ってほしいとずっと要望しているが、対応していただけていない。市を通じても両者に対して要望していただいているが、改善されない状況である。

また、南大橋の交差点の木が伸びて見通しが悪くなっている。昨年要望したところ、市で枝払いをしてくれたが、所管が違うため幹からは切ることができないとのことだった。そのことは我々も認識しているものの、事故が起きないと対応しないのかという不信感も町内会から出てきているのでどうかお願いしたい。私たちも行政任せにするのではなく、もしできることがあれば協力したいと考えているので、一歩踏み込んだ協議をお願いしたい。 【曙】

回答：橋本副市長

関係機関に対する要望は、時間をかけたからといって解決するわけではないので、我々

の考え方を整理する必要があるのではと感じている。特に近年は大雨が多く、水害の被害も拡大していることから、雑木や床涸いについてきちんと対応しなければ、甚大な被害につながるため、市としてできることはないか、町内会と協力しながらできることはないか手法についても検討しながら進めなければならないと考えている。

(6) 砺波川の築堤について

大雨の際に砺波川上流の堤防が低いから、いくら自分たちで下流側をポンプで排水しても水がついてしまう。これから大雨災害が多くなる時期になるが、砺波川対策の予算がついたと聞いたが、今後どのような対応をして頂けるのか、お聞かせいただきたい。【砺波】

回答：建設水道部長

改めて確認させていただき、後ほどご連絡させていただきたい。

(7) 市内道路の整備について

毎年多くの町内会が要望しているように、市内の道路がかなり傷んできている。一昨年、道路整備の今後の方向性について質問したところ、総合計画（第2次）の中で定めると言っていた。しかし総合計画（第2次）の中には書いていなかったのだから、議会報告会の際に質問したところ、実施計画でお知らせすると言っていた。実施計画の中でどの時期に、どの路線を、どれくらいの距離でやるのか、何年言い続けても変わらない状況にあるので、ある程度の目安をつけてほしい。【新大町】

回答：建設水道部長

総合計画（第2次）が今年度からスタートし、10年後には本市の舗装路を5%上昇させる目標を掲げている。この5%は大体7キロに相当する長さであるが、まだ未舗装の道路を優先的にやりたいと考えている。

生活道路の補修は、古いところや未舗装の道路を優先的に進めているが、道路補修はお金がかかるため、国からの交付金に左右される状況にある。また、補修道路は、市全体の状況を考慮しつつ決定しているので、どの道路を補修するのか、固まり次第、地域の皆様にお知らせしたい。

今年の5月に各町内会あてに道路・河川修繕箇所調書を配布させていただき、道路や河川に関する要望があれば提出いただいた。いただいた要望は現場を確認しているが、まだ確認されていない箇所があればご連絡いただきたい。

先ほどの質問で10年後までに市内道路の舗装率を5%あげるとの回答だったが、これほど道路が悪いのに、たった5%の上昇で市民生活は守れるのか。まっすぐ走るのが大変な道路も多いと感じている。いつまで放っておくのか。【新大町】

回答：久保副市長

危険な箇所については優先して行うものの、全面的な道路改修は難しく、ところどころ国の交付金を活用しながら行っている状況である。しかし、国の交付金に頼ってばかりでは状況が改善されないことから、交付金の活用以外にも方法がないか検討している最中である。

道路の補修について、市民がどの道路をいつやるのかというのがすぐにわかるようにしてほしい。市民が納得できるよう、提示してほしい。 【新大町】

回答：橋本副市長

道路の改修には大変費用がかかる。先ほどの5%の舗装率は、まだ舗装されていない道路を舗装するということであるが、それとは別にすでに舗装、改修されている道路の劣化が進んでいることが浮き彫りになってきている。その部分には国の交付金が使えないが、なんとかしなければならぬという問題意識は持っている。今後現場を確認しながら優先順位を考えていきたい。また、皆様にどのように情報を提供できるか検討したい。

(8) 安全安心会議について

小学校単位で各地区に安全安心会議が組織されており、学校からお金をいくらかいたいただきながら会を運営しているが、学校間、青少年センターとの連携がうまくいっていないようだ。安全安心会議に対する行政からの支援が感じられないので、行政からの積極的な情報提供や支援をお願いしたい。 【新大町】

回答：教育部長

子ども達が安心して暮らせる環境づくりは、地域の皆様の協力と支援のおかげである。不審者等の危険情報は市に情報が入り次第学校に連絡し、学校から町内会に情報が提供されるようになっている。また保護者には警察から提供される不審者情報「ほくとくんメール」の登録で情報が手に入るようになっている。また、市民部では「110番の家」のステッカーを地域の皆様の家に貼らせていただき、子ども達に何か危険が迫った時の緊急避難場所とさせて頂く取り組みも行っている。どのような行政支援ができるのか、確認しながら進めていきたい。

安全安心会議の活動に市はもっと積極的に関わってほしい。110番の家もステッカーを貼って終わりではなく、もっと関与してほしい。学校、地域、市がそれぞれ連携することが必要だ。 【新大町】

回答：市民部長

安全安心会議は各小学校が主体となって平成13年に発足した。また年に数回、各関係機関にお集まりいただき、安全安心円卓会議を開いているので、より情報の共有に努めたい。

安全安心会議は「子どもたちの安全で安心して過ごせる環境は地域で作ろう」という機運が地域で高まり、設立された。だからといって行政はそれを見ているだけでいいのか。住民にすべて任せるのではなく、行政ももっと主体的に関わってほしい。 【新大町】

回答：市民部長

子どもたちの安全・安心を最優先に行政が主体的に関わるべきだという意見をいただいたので議論していきたい。

南小学校の安全安心会議は児童センターの館長が会議に参加して、市の取り組みや現況について積極的に情報を提供してくれている。南小の安全安心会議は市が住民に丸投げしているわけではない。 【1区】

回答：橋本副市長

大事な問題なので、いろんな形で取り組んでいきたい。

(9) 道路愛護について

6月25日に道路愛護作業を町内会で行った。風連旭地区には道道が3つあり、北海道から委託された業者が道路愛護週間までに道路の草刈り等を行っているのだが、下川町方面へ向かう道路は委託業者が来るのが遅かった。北海道に道路愛護週間までには作業を終わらせるよう伝えてほしい。 【風連旭】

回答：橋本副市長

伝えていきたい。

(10) 南広場の草刈りについて

2週間程前に南広場の草刈りをやっていただいたが、刈った草が一部片づけられずに放置されている。匂いや虫の問題など衛生上良くないので片づけてほしい。 【7区】

回答：橋本副市長

まずは現場を見させていただき、所管含めて確認したい。

(11) 砂防ダム建設について

昨年8月に大雨が降った際、風連日進地区には避難指示が出た。風連別川支流があり、浸水被害が出やすいので砂防ダム等を建設しなければ解決しないのではと思う。実現できるように関係機関に働きかけてほしい。 【風連日進】

回答：建設水道部長

防災の観点からどのような形が望ましいのか、勉強したい。

(12) ゴミステーションについて

町内にあるゴミステーションに市外から来た人が、ゴミを分別せずに勝手に捨てている。以前市に相談した際には、ゴミステーションは町内会で管理するものなので町内会で何とかしてほしいと言われたが、においなどの衛生上の問題もあり、対応が難しい。そこで、状況を理解してもらうためゴミステーションに防犯カメラを設置した。ぜひ市の担当者には状況を確認いただき、対応いただきたい。 【風連日進】

回答：市民部長

市外から来た人が勝手にゴミを捨てていくのは不法投棄で犯罪である。担当と相談しながら対応していきたい。

【市長まとめのあいさつ】

貴重なご提言いただき、ありがとうございます。有害鳥獣の件につきまして、実は私の家の周辺でもキツネを見かけました。街中への出没もなくなっていないようなのでもしも巣がある場所などの情報があればぜひ提供ください。

国や道が管轄している沼、河川の整備、管理に対し市はちゃんと要望しているのかというお話がありましたが、きちんと伝えていきます。しかし、我々も伝え方を見直したり、もっと市として踏み込んだ対応をしていくことも考えていかなければと思いました。

智恵文沼につきましては、もしもヒブナがいれば環境保護の観点から、沼の床浚いの予算がつくかもしれないということで、ヒブナがいるのかどうかという調査を実施しましたが、ヒブナはおらず、床浚いはできませんでした。また新たな手段を探したいと思います。

昨年8月の大雨の際には、北海道管轄の河川から大きな被害につながったこともあり、北海道も河川整備について予算を加算して対応している状況です。それでも追いついていないため、地域の人たちが河川の木を切ったり、草を刈ったりする事に対する北海道の考え方が少し柔軟になってきているようなので、関係機関との連携、連絡を密に議論していきたいと思います。

道路整備については、舗装率5%アップはかなり踏み込んだ目標であります。5%に加え、危険な箇所を補修、改修していくとなると、年間4～5億円かかります。これに除雪

費を合わせますと約10億円という莫大な規模となってきます。今までは国からの交付金がないと道路補修はやらないというスタンスでしたが、市の単独予算でもやるべきではないかの議論もしています。また、道路補修の計画をお知らせすることは、良い部分もありますが順番が変わってしまった時に皆様に迷惑をかけてしまうので、確実に実施できる状態になったらお知らせするようにしております。

皆様におかれましては地域の課題について熱心に取り組んでいただき、感謝申し上げます。我々もできることは全力でしっかりやりたいと思います。また、町内会活動の発展のためにも努力して参りたいと思います。本日は誠にありがとうございました。